



図①を見ると、平均募集坪単価は、各区2月末時点から千代田区は459円、渋谷区では、137円下落し

た。そのほかの3区は、ほぼ横ばいとなった。千代田区で前月に坪単価を押し上げていた高級新築物件の影響が薄まったが、従来と比較すると高い水準になっている。前年同月比では、港区で1038円上昇、中央区で1038円上昇、中央区、千代田区、新宿区も上昇、渋谷区のみが横ばいとなっている。

平均募集礼金は2月末時点から渋谷区で新築物件を中心に礼金2カ月の募集割合が増加し、0・08カ月(10・7%)上昇した。千代田区は、0・04カ月(5・4%)上昇。港区は0・02カ月(2・9%)、新宿は0・02カ月(2・6%)下落した。中央区は、横ばいとなっている。

前年同月比では、中央区、渋谷区、新宿区で上昇、千代田区で下落、港区で横ばいとなった。人口、世帯数は、3月1日時点の都心5区の人

リーシング・マネジメント・コンサルティング
(東京都港区)は、4月マンション坪単価推移、30日に2015年3月末時点の都心5区賃貸マンション坪単価推移、

リーシング・マネジメント・コンサルティング

平均募集礼金は横ばい傾向

千代田区の平均募集坪単価、高い水準続く

